



# Yonago East Weekly

「自分にチャレンジ！自分に奉仕！そして、ロータリーを楽しもう！」

- 創立/1968年4月24日 ●事務所/米子市西福原1-1-55 ホテルサンルート米子 Tel (0859) 32 - 5531
- 例会日/水曜日12:30~13:30 ●例会場/ホテルサンルート米子市西福原1-1-55 Tel (0859) 33-0911
- 会長/小谷維夫 ●幹事/永島清孝 ●会報/足立博俊

会員数90名

## 今週のお祝い

**夫人誕生祝:** 1日 西村正男君 19日吉岡朋美君  
26日 植田昭君 27日 田淵亮達君 30日 小谷維夫会長

**結婚記念祝:** 1日 牛込淳彦君 3日宮永誠治君  
4日 岩崎浩君 10日 西上哲弘君 20日 大場英之君  
25日岩崎稔君 27日松本啓君

## 会長挨拶

今日は、最近読んでいる本についてお話し致します。今、読んで「空海コレクション」は、なかなか理解するのが大変ですが、「衆生本来仏心を具す・宿す」との一文がありました。この一文に出会ったとき、「ロータリーは質か量か」という事柄と結びつきました。ロータリアンの皆さんは、元々「奉仕の心」を持っておられます。ところが、あまり活動が分からない状況のまま置かれ、結果としてままならずと云うことが起こっております。こう云う状況を打破するには、クラブがもう少し細やかに目配りをする努力が必要ではないでしょうか。問われているのは、クラブの「育てる仕組み・力量」ではないでしょうか。

私は「人というもの、ロータリアンは、元々素晴らしい奉仕の心を持っている」と確信し、「質と量」という不毛なる考え方を「衆生、本来仏心を具す」との剣で、一刀両断のもと切り捨てました。その根拠は、我々が選んだからです。それが、全てです。クラブには、如何に育てていくべきか、が問われ、一方新入会員の方々には、まず参加してロータリーを愛し、楽しみロータリーライフを心から満喫して頂くことが肝要だと思います。

## 幹事報告

1. 鳥大学生さん3名来訪



- 2. 6/12 新入会員歓迎会 30名参加
- 3. 6/8第4回ガバナー補佐会出席お礼状
- 4. 8/3 雑誌・広報委員長会議のご案内  
(津山国際ホテル) 次年度ガバナー事務所より
- 5. 7/11第40回米子がいな祭「安全祈願祭」開催のご案内
- 6. 例会変更のお知らせ  
米子中央RC・倉吉東RC 6/27休会(定款第6条)  
ビジター受付なし  
米子RC 6/28(金) 夜間例会 ビジター受付あり

### 今後の予定

- 6/26 夜間例会 (ホテルサンルート米子)
- 6/29 米子東・南RC合同親睦ゴルフ (大山平原ゴルフ)



Peace Through service

奉仕を通じて平和を

## < プログラム >

### 「理事退任報告 ⑧」 荒川圭三奉仕プロジェクト担当理事)

入会9年目で初めて担当する仕事でしたので、初めての体験を沢山させて頂きました。5名の優秀なリーダーさん達のお陰で、全く問題なく1年を終えました。ただ、その間のリーダーの皆さんの苦勞は、大変なものであったと思います。上森リーダーに新世代活動をして頂いて、作文コンクールやスタジアムへの記念植樹をして頂きました。忙しい中、頑張ってくれたと思います。小椋リーダーには、職業奉仕委員会をして頂き、八幡物産への工場見学や労災病院さんへの健康診断をして頂きました。戸田リーダーには、社会奉仕委員会をして頂き、インターアクトの池淵リーダーと共に、大山の一斉清掃の時には、雪の降る中を事故もなく、無事取り仕切っていただきました。国際奉仕委員会では、川端リーダーには、国際交流協会との交流などをして頂きました。一年間ありがとうございました。



### 「理事退任報告 ⑨」 永島清孝幹事

顧みますと私は、井上会長年度に会場監督をして、尾沢会長年度には副幹事をして、小谷会長年度に幹事と、三年連続で理事を務めさせて頂きました。幹事としての任期は一年でございますが、実際は準備期間を含めると一年と10か月ぐらいは務めた気がいたします。この間、私の生活はロータリーと共にある様な生活ぶりでした。とにかく忙しかったと思います。今年度は、大きな事業がありました。

一つ目は、青少年交換留学生事業です。委員長の永島会員には、大変なご心勞とご苦勞をお掛け致しました。また、米子松蔭高校の教員の皆様や、受け入れのご家族の皆様には、大変感謝致しております。二つ目は、地区の新地区補助金事業であります。石部理事と上森会員に相談をして、締め切りまで時間が無かったので、大急ぎで計画書を作って頂きました。石部理事には申請書を何度も作り直して頂き、締め切りギリギリで申請を通しました。三つ目は、グレン&千杯全国野球大会であります。我がロータリーが主催し、成功裏に大会を終えたことは、大変喜ばしいことであります。大会実行委員長の宮本会員と監督の井上会員を中心として、米子東ロータリークラブが一致団結すると云う力を見た気が致します。四つ目は、新入会員のインフォメーションが素晴らしく良くなったという事であります。永見リーダーに一時間をかけて、詳しくインフォメーションするようお願いを致しました。

今や我が米子東ロータリークラブは、会員数90名となりました。山陰では最大規模です。次期長棟幹事に、私以上のご支援ご協力をお願いして、挨拶とさせて頂きます。



### 「理事退任報告 ⑩」 小谷維夫会長

去年の7月1日から、今年の6月までの中で行われた事を振り返ります。まず7月は、初理事会がありその中で、若い岩崎理事の一言で、一年間会長としてやって行ける自信が付きまして。9月には、阿南南RCを迎え観月例会がありました。10月には、倉敷にて地区大会がありました。11月には、グレン&千杯野球大会があり、12月には、指名委員会で次々年度の会長・幹事が決まりました。1月には、村上一平会員が卓話をされ、2月には、作文コンテストの表彰があり、5月には、新旧会長幹事会がありました。6月には、会員数が83名から90名となりました。

さて、年度を終えるにあたり、私の会長としての想いを申し上げます。ロータリーは何事も「それでこそロータリー、それでこそロータリアン」でなくてはなりません。時代と共に変化することは必要ですが、その精神、根幹となる考え方、捉え方、そして対処の仕方は、厳然として変えてはならない部分があります。そこをアヤフヤにし、いい加減に考え、判断して行動を起こすと、その結果として、外れてはならないロータリーの範疇を外れて、とんでもない事を起こしてしまいます。我々は「ロータリーの綱領・四つのテスト」を拠り所に行動するロータリアンであります。この心の持ち方を堅持することが、ロータリアンであり続ける限りは常に求められていきます。

この1年、会長として十二分にロータリーライフを満喫させて頂きました。そして、木美年度へと、確りと大切なバトンをお渡し致します。

